

平成29年度 自己評価書

北海道北見商業高等学校

1 本年度の重点事項

重点目標

- (1) 学校教育目標実現のための教育課程の研究実践に努める。
- (2) 基礎学力の充実と専門的な技術の向上を図る。
- (3) 学校生活の秩序を確立し、よりよい校風の樹立に努める。

2 本年度の経営方針

- (1) 生徒に夢と希望を抱かせ、その自己実現をサポートする教育の推進に努める。
- (2) 教職員が使命感と誇りを持って、生徒を逞しく心豊かな人間性を育む学校運営に努める。
- (3) 生徒、保護者、教職員および地域社会に、信頼と共感が得られる学校経営に努める。

3 自己評価結果 (A:十分 B:おおむね C:やや不十分 D:不十分)

分野 領域	評価項目	達成 状況	取組の 適切さ	分析及び改善の方策
学校 経営	生徒の実態や保護者、地域住民の願いを踏まえた学校教育目標を設定している。	B	B	・平成30年度開校40周年を迎えるにあたり生徒の実態や保護者、地域住民の願いを踏まえた学校教育目標の具現化に向けて、伝統を継承しながら教育活動 を推進する。 ・平成31年度からの間口減に対応するために、各分掌や各種委員会等の学校組織の改善を図りながら学校運営の効率化を図る
	学校の教育目標を具現化するという意識のもと、日常的教育活動を行っている。			
	学校運営の効率化などを図るために、学校の組織の改善を適切に行っている。			
	学年相互の連携はもとより、各学年や各分掌間で連携を十分に図り協働体制を構築している。			
教務	教科内研修はもとより、校内研修を計画的に実施し、積極的に研修活動に取り組んでいる。	B	B	・間口減にともなう教育課程の見直しを早急に行うとともに、新学習指導要領に基づく教育課程の在り方について協議を進めていく。 ・人間としての在り方生き方に関する教育については、総合的な学習の時間の活用や進路指導部との連携を通して意識の高揚を図っていく。 ・定期試験前や検定前はある程度の取り組みが見られるが、継続的な取り組みのために、成績の推移や見直しなどを定期的に示し、基礎・基本の定着や自主的 な学習に向けて目標意識を持たせていく。 ・授業評価については、今後も実施を促し、有効的な活用について、各教科で話し合ってもらうとともに、授業改善に関する情報を随時提供していく。
	生徒の実態に対応して基礎・基本の確実な定着を図るための工夫・改善に努めている			
	自主的な学習態度の確立に努め、生徒に家庭学習に取り組ませる方策等を工夫している。			
	各教科・科目のシラバス・年間計画等を作成し、学習の目的や学習方法等を事前に生徒に適切に説明している。			
	授業評価等を実施するなどして、客観的な授業の分析を行い、授業改善に努めている。			
生徒 指導	服装指導・挨拶指導などが日常的に行われている。	B	B	・服装・頭髪指導は長期休業明け、各種行事前 等に行っているが、日常的な指導が必要である。 ・教員間の共通理解が必要(指導基準の共通化) ・朝の挨拶運動のなかで服装・頭髪の指導も含め、一定の成果は出てはいるが今後も継続していく必要がある。 ・教科担任懇談会や教育支援委員会、いじめ防止対策委員会等から生徒の情報を教職員で共有する。
	学校行事の企画・運営に当たっては、生徒一人ひとりの主体性を尊重するよう配慮している。			
	生徒理解を深めるための方策を適切に行い、全教職員で情報の共有を図り、きめ細かな生徒指導を行っている。			
	部活動への積極的な参加を促すとともに、学習と両立させる工夫や指導を行っている。			
進路 指導	生徒会活動を通じて、自主・自律の精神を養うとともに、北商生の自覚や連帯感を育てている。	B	B	・今後も商業科を中心として取り組んでいる検定取得の指導を、学校全体でバックアップをしていきたい。 ・生徒や保護者の期待を明確化するために、各アンケート調査によって把握していきたい。 ・過年度生徒の追跡調査等を行い、地域や企業などの声を反映して進路指導の充実に努めたい。 ・今後も教職員向けの研修会や生徒向けの職業講話などの機会を継続して行っていきたい。 ・インターンシップ推進委員会と連携を図り、生徒の実態(希望)に即した職業体験実施に向けて、学校体制を整えていきたい。
	進路実現に向けて資格取得の機会を多く設け、学校全体で生徒への指導を行っている。			
	生徒や保護者、地域住民の期待に応えて授業以外でも、充実した進路指導に努めている。			
	進路実現に係る様々な情報や資料の収集に努め、迅速かつ適切な情報提供を行っている。			
保健 安全	インターンシップの推進に当たっては、学校体制を整えるとともに、地域との連携を図っている。	B	B	・ボランティア活動への積極的な参加を働きかけ、教職員が率先して取り組んでいる。 ・生徒が命の大切さを知り、健康で安全な生活が送れるように指導がなされている。
教育 相談	ボランティア活動への積極的な参加を働きかけ、教職員が率先して取り組んでいる。	B	B	・ボランティア同好会や生徒会のボランティア活動、保健部の花壇整備などの取り組みを学校全体の取り組みとして明確にする。 ・保健部では、性教育講座、保健便りを通じて啓蒙しているが今後も創意工夫して充実させる。
	教育相談は外部の諸機関との連携も含め組織的な協力体制のもとで進めている。			
	日常的に保護者と連携し、情報の共有に務めている。			
	生徒がいじめや様々な悩みを相談しやすい環境が整っている。			
その他	いじめの防止や早期発見について定期的に適切に取り組んでいる。	B	B	・生徒が養護教諭に相談した内容を担任に報告し対策を考える場面が多い。学年団や教科担任・部顧問などその生徒に詳しい先生方のフォロー体制を引き続き 行っていく必要がある。 ・スクールカウンセラーの窓口は養護教諭が行っているが、今後も情報の共有を図る必要がある。(教科担任懇談会や教育支援委員会、いじめ防止対策委員会 等から生徒の情報を教職員で共有する)
	ホームページや各種通信などあらゆる機会をととして情報の発信と共有化を図っている。			
	PTA活動に積極的に関わり、生徒の活動を支援するための充実した活動となるように努めている。			
	同窓会等の外部団体との連携を図り、生徒への支援につなげている。			
その他	校内LANの適切な運用を図り、情報機器等の適切な管理に努めている。	B	B	・ホームページは、本校の教育活動を多くの方々にとって頂く重要なツールと考える。今後も掲載については、個人情報等を配慮しながら更新していきたい。 ・PTA総会や研修会の参加人数は、例年通りであった。今後も役員の方々の意見を聞きながら、教職員とともにPTA活動内容について検討していきたい。